

特定非営利活動法人 海洋音響学会【案】

2026 年度総会資料

通常総会・表彰式

月 日 2026 年 5 月 18 日 (月)

場 所 東京科学大学西 9 号館デジタル多目的ホール

及びオンライン会議による

◇第 23 回通常総会 (通算第 54 回) (13 : 00 ~ 13 : 30)

次第

1. 開会
2. 議長の選任
3. 審議事項
 - 第 1 号議案 2025 年度事業報告及び決算について (資料 1~3, 別紙 1)
 - 第 2 号議案 2026 年度事業計画及び予算について (資料 4~5)
 - 第 3 号議案 名誉会員の推薦について (資料 6)
 - 第 4 号議案 役員の交代について (資料 7, 別紙 2)
4. 議事録署名人の選任
5. 会長挨拶
6. 閉会

◇第 50 回表彰式 (13 : 30 ~ 13 : 45)

- ・ 顕功賞贈呈 (別紙 3)
- ・ 論文賞贈呈 (別紙 3)
- ・ 業績賞贈呈 (別紙 3)
- ・ JAMSTEC 中西賞報告 (別紙 4)

◇名誉会員証授与式 (13 : 45 ~ 13 : 50)

- ・ 名誉会員証授与

2025 年度事業報告（案）

1 全般状況

(1) 会員の状況

区 分	2024 年度末	2025 年度末	備 考
名 誉 会 員	15 名	15 名	定期購読者： 5 機関（2025 年度）
終 身 会 員	7 名	7 名	
通 常 会 員	265 名	265 名	
賛 助 会 員	26 社 40 口	30 社 44 口	

(2) 第 22 回通常総会

2025 年 5 月 21 日（水）13:00～13:30

東京科学大学蔵前会館からのオンライン会議および対面のハイブリッド開催において、会員数 297 名の内、出席者 156 名（内、オンライン会議出席 16 名、書面若しくは電磁的方法による表決者 30 名、表決委任者 68 名）にて開催した。

審議事項

- (1) 第一号議案 2024 年度事業報告及び決算について
- (2) 第二号議案 2025 年度事業計画及び予算について
- (3) 第三号議案 2025、2026 年度役員を選出について

議事の概要及び議決の結果

議長の選任

司会より、川崎良道氏の議長選任を諮り、全員異議なくこれを承認した。

第 1 号議案 第一号議案 2024 年度事業報告及び決算について

議長より 2024 年度事業報告書(案)、会計理事及び監事より 2024 年度活動計算書、2024 年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表、2024 年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録及び 2024 年度計算書類の注記の資料を参照し、報告したところ、全員異議なくこれを承認した。

第 2 号議案 2025 年度事業計画及び予算について

議長より 2025 年度事業計画書(案)、会計理事より 2025 年度活動予算書(案)の資料を参照し、詳細に審議したところ、全員異議なくこれを承認した。

第 3 号議案 2025、2026 年度役員を選出について

議長より理事の任期満了に伴い定款第 14 条に基づき、2025、2026 年度理事の選任について諮ったところ、全員異議なく次の者が理事として選出され、被選任者はいずれもその就任を承諾した。

同じく議長より定款第 14 条に基づき、2025、2026 年度監事の選任について諮ったところ、全員異議なく次の者が監事として選出され、被選任者はいずれもその就任を承諾した。

なお、提出書類の軽微な事項の修正については、総務理事に一任する。

(3) 第49回表彰式

総会に引続き、東京科学大学蔵前会館をホストとしたオンライン会議および対面のハイブリッド開催にて開催した。

論文賞贈呈

以下の者に論文賞を贈呈した。

- ① 題目 計量ソナーに用いるマサバのターゲットストレングスの計測と理論モデル解析

受賞者 (所属 (当時))	閻 乃箏	(北海道大学水産学部)
	向井 徹	(北海道大学大学院)
	長谷川 浩平	(北海道大学大学院)
	飯田 浩二	(北海道大学大学院)
	鶴田 直剛	(北海道大学水産学部)

掲載誌 海洋音響学会誌, Vol. 50, No. 4, pp. 107-122, 2023 年 10 月

- ② 題目 A sparse adaptive decision feedback equalization approach for the high data rate vertical underwater acoustic communication in deep sea

受賞者 (所属 (当時))	樹田 行弘	(海洋研究開発機構)
	出口 充康	(海洋研究開発機構)
	志村 拓也	(海洋研究開発機構)

掲載誌 Japanese Journal of Applied Physics, Vol. 63, 04SP61, 2024

業績賞贈呈

以下の者に業績賞を贈呈した。

- ① 題目 マルチビームデータクラウド (AIMS; Acoustic IMaging and Survey cloud) の開発
(推薦にかかわる仕事をした期間: 2020 年~2024 年)

企業・団体名 港湾空港技術研究所, 株式会社海洋先端技術研究所

受賞者 (所属 (当時))	松本 さゆり	(港湾空港技術研究所)
	余野 央行	(海洋先端技術研究所)
	梶 拓	(海洋先端技術研究所)
	植木 俊明	(海洋先端技術研究所)
	井村 洋介	(海洋先端技術研究所)

- ② 題目 音響灯台方式による高精度水中測位システム

(推薦にかかわる仕事をした期間: 2018 年~2024 年)

企業・団体名 五洋建設株式会社, 株式会社多摩川電子, 港湾空港技術研究所

受賞者 (所属 (当時))	杉本 英樹	(五洋建設株式会社)
	増谷 正治	(五洋建設株式会社)
	堤 賢一郎	(五洋建設株式会社)
	吉澤 真吾	(北見工業大学)
	齋藤 隆	(株式会社多摩川電子)
	小西 晋輔	(株式会社多摩川電子)
	松本 さゆり	(港湾空港技術研究所)

JAMSTEC中西賞

以下の者にJAMSTEC中西賞が贈呈されたことを報告した。

- ・ 題目 直交信号分割多重方式を用いる水中音響通信における BPDN の大域最適解に基づく性能向上
- ・ 受賞者 (所属 (当時))

石島 諒一	(筑波大院・シス情)
海老原 格	(筑波大・シス情系)
若槻 尚斗	(筑波大・シス情系)

前田 祐佳 (筑波大・シス情系)

水谷 孝一 (筑波大・シス情系)

掲載誌 2024 年度 研究発表会 講演論文集, pp. 63-66

(4) 理事会

年度中 6 回開催し、会の活動と経理の状況を把握しつつ随時所要の対策を講ずるほか、総会の決定に従い本会運営の基本に関する事項を審議決定し、各委員会との連絡を密にして事業の円滑化を図った。

(5) 執行理事会

理事会を補佐し、本学会の全体運営に関わる業務について効率的かつ十分な審議と迅速な執行を目的とし、年度中 8 回開催し、規程類の変更・制定、総務、会計に関する審議を行った。

2 事業の概況

事業内容は資料2「事業報告書」による。なお、詳細は別紙1による。

2025 年度 事業報告書 (案)

特定非営利活動法人 海洋音響学会

1 事業の成果

2025 年度は、特定非営利活動法人として次の事業を行った。

- 第 1. 海洋音響に関する普及啓蒙事業として、会誌の発行、研究発表会、談話会、技術講習会を開催したほかホームページを活用し情報の提供を行った。
- 第 2. 海洋音響に関する奨励事業として、前年度の優秀論文賞の表彰をしたほか、本年度の優秀論文賞、業績賞の表彰候補選考、及び JAMSTEC 中西賞の表彰推薦候補選考を行った。
- 第 3. 海洋音響に関する企画交流促進事業として、企画運営委員会の開催、日本海洋工学会等との交流を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 6,891 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
学術調査研究事業	「研究部会」を開催する。	4月, 7月, 10月, 1月	東京都 新宿区オンライン会議	25人	海洋音響に関心のある者	約30人	37
普及啓蒙事業	会誌 198, 199, 200, 201 号を発行した。	4月 1日 7月 1日 10月 1日 1月 1日	法人事務所	20人	海洋音響に関心のある者	約400人	1,922
普及啓蒙事業	「海洋音響の基礎と応用」の増刷を行い、改訂委員会を 4 回開催した。	7月, 9月, 11月, 2月	法人事務所	10人	海洋音響に関心のある者	約200人	1,149
普及啓蒙事業	研究発表会を開催した。	5月 21日 5月 22日	ハイブリッド開催 (東京都目黒区, オンライン会議)	20人	海洋音響に関心のある者	約120人	1,776
普及啓蒙事業	談話会を 3 回開催した。	8月 28日 1月 14日 3月 16日	8月/1月東京都目黒区 3月 東京都港区	10人	海洋音響に関心のある者	約120人	331
普及啓蒙事業	「海洋音響の基礎と応用」をテーマに技術講習会を開催した。	12月 8日 12月 9日	Zoom	10人	海洋音響に関心のある者	約100人	692

普及啓蒙事業	ホームページを運用し，活動内容を紹介し，海洋音響に関する情報を提供する．	随時	法人事務所	8人	一般市民	不特定多数	495
奨励事業	海洋音響に関する優れた研究開発成果を表彰した． 次年度に海洋音響に関する研究開発の奨励，優れた研究開発成果を表彰するための委員会を開催した．	5月21日 (表彰) 2月6日 (委員会)	(表彰)ハイブリッド開催(東京都新宿区, オンライン会議) (委員会)オンライン会議	12人	海洋音響研究者	約10人	466
企画交流促進事業	企画運営委員会(理事会と共催)を3回開催すると共に, 日本海洋工学会等関連団体との交流, 行事の共催を行った．	9月1日 11月17日 1月30日	オンライン会議	25人	海洋音響に 関心のある者	不特定多数	22
企画交流促進事業	学会誌アーカイブデータのホームページ掲載, ホームページ英文化の検討を行う．	随時	ハイブリッド開催(東京都新宿区, オンライン会議)	10人	海洋音響に 関心のある者	不特定多数	0

書式第13号（法第28条関係）

2025年度 活動計算書		特定非営利活動法人 海洋音響学会 (単位：円)	
科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
通常会員受取会費	1,530,000		
賛助会員受取会費	7,920,000	9,450,000	
2 事業収益			
(1)学術調査研究事業収益	0		
(2)普及啓蒙事業収益	1,132,930		
(3)奨励事業収益	0		
(4)企画交流促進事業収益	0	1,132,930	
3 受取補助金			
4 受取寄附金			
5 その他収益			
雑収益	106,294	106,294	
経常収益計			10,689,224
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
臨時雇賃金	40,108		
人件費計	40,108		
(2)その他経費			
事務委託費	1,923,896		
消耗品費	381,157		
通信運搬費	14,394		
旅費交通費	424,692		
印刷製本費	2,478,674		
会議費	1,108,530		
謝金	501,800		
雑費	18,097		
その他経費計	6,851,240		
事業費計		6,891,348	
2 管理費			
(1)人件費			
給料手当	0		
人件費計	0		
(2)その他経費			
事務委託費	2,993,914		
消耗品費	42,839		
通信運搬費	172,015		
旅費交通費	103,570		
印刷製本費	2,425		
会議費	342,994		
雑費	16,295		
その他経費計	3,674,052		
管理費計		3,674,052	
経常費用計			10,565,400
当期経常増減額			123,824
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			123,824
法人税、住民税及び事業税			0
前期繰越正味財産額			24,973,256
次期繰越正味財産額			25,097,080

2025年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2026年3月31日現在

特定非営利活動法人 海洋音響学会

（単位：円）

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	19,190,844	
流動資産合計		19,190,844
2 固定資産		
基本財産	6,552,409	
固定資産合計		6,552,409
資産合計		25,743,253
II 負債の部		
1 流動負債		
未払費用	444,173	
前受金	4,000	
前受会費	198,000	
流動負債合計		646,173
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		646,173
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		24,973,256
当期正味財産増加額		123,824
正味財産合計		25,097,080
（うち基本財産）		(6,552,409)
負債及び正味財産合計		25,743,253

書式第17号（法第28条関係）

2025年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2026年3月31日現在

特定非営利活動法人 海洋音響学会
(単位：円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
学会手許金	0	
普通預金（みずほ銀行高田馬場支店）	8,513,973	
普通預金（みずほ銀行高田馬場支店・事務局）	494,157	
郵便振替（ゆうちょ銀行高田馬場支店）	10,182,714	
流動資産合計		19,190,844
2 固定資産		
基本財産		
定期預金（三菱UFJ信託銀行本店営業部）	6,552,409	
固定資産合計		6,552,409
資産合計		25,743,253
II 負債の部		
1 流動負債		
未払費用	444,173	
前受金	4,000	
前受会費（次年度会費）	198,000	
流動負債合計		646,173
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		646,173
III 正味財産の部		
繰越正味財産 （うち基本財産）		25,097,080 (6,552,409)

2025年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2026年3月31日現在

特定非営利活動法人 海洋音響学会
(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
学会手許金	0	
普通預金（みずほ銀行高田馬場支店）	8,513,973	
普通預金（みずほ銀行高田馬場支店・事務局）	494,157	
郵便振替（ゆうちょ銀行高田馬場支店）	10,182,714	
流動資産合計		19,190,844
2 固定資産		
基本財産		
定期預金（三菱UFJ信託銀行本店営業部）	6,552,409	
固定資産合計		6,552,409
資産合計		25,743,253
II 負債の部		
1 流動負債		
未払費用	444,173	
前受金	4,000	
前受会費（次年度会費）	198,000	
流動負債合計		646,173
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		646,173
III 正味財産の部		
繰越正味財産 （うち基本財産）		25,097,080 (6,552,409)

重要な点において適正に表示しているものと認める。

2026年 4月 8日

監事 遠藤 信行 印

監事 蜂屋 弘之 印

2025年度正味財産25,097,080円は全額次年度に繰越すこととする

書式第16号（法第28条関係）

2025年度 計算書類の注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

科 目	学術調査研究事業	普及啓蒙事業	奨励事業	企画交流促進事業	事業部門計	管理部門	合 計
I 経常収益							
1. 受取会費	0	0	0	0	0	9,450,000	9,450,000
2. 事業収益	0	1,132,930	0	0	1,132,930	0	1,132,930
3. 受取補助金	0	0	0	0	0	0	0
4. 受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0
5. その他収益	0	0	0	0	0	106,294	106,294
経常収益計	0	1,132,930	0	0	1,132,930	9,556,294	10,689,224
II 経常費用							
(1) 人件費							
臨時雇賃金	0	40,108	0	0	40,108	0	40,108
人件費計	0	40,108	0	0	40,108	0	40,108
(2) その他経費							
事務委託費	0	1,923,896	0	0	1,923,896	2,993,914	4,917,810
消耗品費	0	14,979	366,178	0	381,157	42,839	423,996
通信運搬費	0	14,394	0	0	14,394	172,015	186,409
旅費交通費	36,960	387,732	0	0	424,692	103,570	528,262
印刷製本費	0	2,478,674	0	0	2,478,674	2,425	2,481,099
会議費	0	1,096,701	0	11,829	1,108,530	342,994	1,451,524
謝金	0	401,800	100,000	0	501,800	0	501,800
雑費	0	7,662	165	10,270	18,097	16,295	34,392
その他経費計	36,960	6,325,838	466,343	22,099	6,851,240	3,674,052	10,525,292
経常費用計	36,960	6,365,946	466,343	22,099	6,891,348	3,674,052	10,565,400
当期経常増減額	△ 36,960	△ 5,233,016	△ 466,343	△ 22,099	△ 5,758,418	5,882,242	123,824

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	6,540,261	12,148	0	6,552,409
合 計	6,540,261	12,148	0	6,552,409

2026年度 事業計画書（案）

特定非営利活動法人 海洋音響学会

1 事業実施の方針

2026年度は、長期的展望に立って、海洋音響及びこれに関連のある諸科学の一層の振興を図るために、次の方針にしたがって活動する。

- 第1. 海洋音響に関する学術調査研究事業を行う。
- 第2. 海洋音響に関する普及啓蒙事業を行う。
- 第3. 海洋音響に関する研究開発の奨励事業を行う。
- 第4. 海洋音響に関する企画交流促進事業を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【9,680】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
学術調査研究事業	「研究部会」を開催する。	4月, 7月 10月, 1月	東京都 新宿区 オンライン会議	25人	海洋音響に関心のある者	約30人	500
普及啓蒙事業	会誌を定期発行する。	4月, 7月 10月, 1月	法人 事務所	20人	海洋音響に関心のある者	約400人	2,200
普及啓蒙事業	「海洋音響の基礎と応用」改訂版出版のため、改訂委員会を開催する。	4月, 7月, 9月, 11月, 1月	法人 事務所	10人	海洋音響に関心のある者	約200人	500
普及啓蒙事業	研究発表会を開催する。	5月	東京都 目黒区 オンライン会議	20人	海洋音響に関心のある者	約250人	1,800
普及啓蒙事業	国際化を目指し外国人講師を招き講演会を開催する。シンポジウムを年2回程度開催する。	講演会： 随時 シンポジウム：10月 および随時	東京都 新宿区 オンライン会議	10人	海洋音響に関心のある者	約200人	900
普及啓蒙事業	談話会を年3回程度開催する。	6月, 8月, 1月	東京都 新宿区 オンライン会議	10人	海洋音響に関心のある者	延べ約200人	400

普及啓蒙事業	技術講習会を開催する.	12月	東京都 新宿区 オンライン 会議	10人	海洋音響 に関心 のある 者	約50人	700
普及啓蒙事業	ホームページを運用し, 活動内容を紹介し, 海洋 音響に関する情報を提 供する.	随時	法人 事務所	8人	一般市民	不特定 多数	500
奨励事業	海洋音響に関する優れ た研究並びに開発成果 を表彰する. 海洋音響に関する研究 の奨励, 優れた研究開発 成果を表彰するための 委員会を開催する.	表彰:5月 委員会: 随時	東京都 目黒区 オンライン 会議	12人	海洋音響 の研究者	若干名	650
企画交流促進 事業	事業の企画会議の開催 並びに, 国際化に関する 検討, 日本海洋工学会等 関連団体との交流, 行事 の共催・後援を行う.	随時	東京都 新宿区 オンライン 会議	25人	海洋音響 に関心 のある 者	不特定 多数	330
企画交流促進 事業	学会誌アーカイブデー タのホームページ掲載, ホームページ英文化の 検討を行う.	随時	東京都 新宿区 オンライン 会議	10人	海洋音響 に関心 のある 者	不特定 多数	1,200

書式第9号（法第10条・第25条関係）

2026年度 活動予算書（案）			
2026年4月1日から2027年3月31日まで			
特定非営利活動法人 海洋音響学会			
（単位：円）			
科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
通常会員受取会費	1,590,000		
賛助会員受取会費	7,920,000	9,510,000	
2 事業収益			
(1)学術調査研究事業収益	0		
(2)普及啓蒙事業収益	855,000		
(3)奨励事業収益	0		
(4)企画交流促進事業収益	0	855,000	
3 受取補助金			0
4 受取寄附金			0
5 その他収益			
雑収益	90,000	90,000	
経常収益計			10,455,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
臨時雇賃金	20,000		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	20,000		
(2)その他経費			
事務委託費	3,510,000		
消耗品費	470,000		
通信運搬費	100,000		
旅費交通費	1,160,000		
印刷製本費	1,580,000		
会議費	2,030,000		
謝金	790,000		
雑費	20,000		
その他経費計	9,680,000		
事業費計		9,680,000	
2 管理費			
(1)人件費			
臨時雇賃金	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	0		
(2)その他経費			
事務委託費	3,000,000		
消耗品費	100,000		
通信運搬費	200,000		
旅費交通費	150,000		
印刷製本費	50,000		
会議費	400,000		
雑費	15,000		
その他経費計	3,915,000		
管理費計		3,915,000	
経常費用計			13,595,000
当期経常増減額			△ 3,140,000
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 3,140,000
法人税、住民税及び事業税			0
前期繰越正味財産額			25,097,080
次期繰越正味財産額			21,957,080

名誉会員の推薦について

海洋音響に関する学問及び技術に顕著な功績, また本学会の発展に多くの功績のあった下記の者を名誉会員規程第5条に基づき名誉会員とする

渡辺 好章

功績の概要

渡辺氏は長年に渡り, 非線形音響, 生物音響等広く海洋音響に関わる研究に従事された。研究発表会実行委員長ならびに副会長を歴任されており, 本学会の運営と目的達成に多くの貢献をされたことから, 特定非営利活動法人海洋音響学会名誉会員規程に基づき名誉会員として推薦するものである。

川崎 良道

功績の概要

川崎氏は長年に渡り, 海洋音響トモグラフィ, 海洋計測機器の開発等広く海洋音響に関わる研究に従事された。会長, 副会長を歴任されており, 本学会の運営と目的達成に多くの貢献をされたことから, 特定非営利活動法人海洋音響学会名誉会員規程に基づき名誉会員として推薦するものである。

役員の交代について

賛助会員代表者変更に伴う理事の交代がありましたので以下に記載します

- ・ 日本電気株式会社
 (旧) 中野 正規
 (新) 海地 慶太
- ・ 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所
 (旧) 佐瀬 浩市
 (新) 安部 智久

2025 年度事業内容

○ 研究発表会

(5/21, 22 東京科学大学大岡山キャンパス 蔵前会館ロイヤルブルーホール及びオンライン開催)
特別講演

題目: Sounds of ice and animals in Greenland

演者: Evgeny Podolskiy (北大・北極域研究センター)

優秀論文発表賞の贈呈:

- ・ 題目 沿岸域雑音環境における生物模倣測位信号の自然さ及びロバスト検出の向上
発表者 ラフェガ ルリアノフ ルベン (防衛大)
- ・ 題目 浅海域で計測された音速分布に基づく波動伝搬シミュレーション
発表者 小野 皓大 (筑波大)

○ 談話会

第 1 回 (8/28 東京科学大学大岡山キャンパス 蔵前会館ロイヤルブルーホール)
(電子情報通信学会超音波研究会共催)

議題: 水中音響, 超音波一般

「日本の太平洋沿岸域の海底地震計網による鯨類鳴音と推定される信号の検出」

岩瀬良一 (JAMSTEC)

「エコーサウンダによる植物プランクトン検出の高感度化の検討」

黒山喬允・小笠原英子・森 和義 (防衛大)

「長崎県五島列島沖洋上風力発電機から放射される水中音の音波伝搬特性」

土屋健伸・遠藤信行 (神奈川大)

「非同心円 PVDF 線集束超音波トランスデューサを用いた $V(z)$ 曲線法の検討 ～ 表面波速度を用いた音響モフォロジー」 ～

外村達也 (科学大)・荒川元孝 (東北大)・田原麻梨江 (科学大)

「機械振動を用いた生体組織の液圧評価 ～ 液圧負荷下における音響モフォロジー解析 ～」

清水健登・田野直輝 (科学大)・江田 廉・山越芳樹 (群馬大学)・田原麻梨 (科学大)

「Muscle region segmentation for adhesion analysis in shoulder ultrasound monitoring system — Supervised segmentation using acoustic morphology and superpixel-based feature fusion —」

Jinyi Zhao (Science Tokyo)・Mizuki Fujiwara (JR Sendai Hospital, Tohoku Univ.)・Masahiro Yamaguchi・Marie Tabaru (Science Tokyo)

「エコー信号の周波数情報を基にした造影剤弁別方法に関する検討」

吉田憲司 (千葉大)・大村眞朗 (富山大)・平田慎之介・山口 匡 (千葉大)

「フレックステンショナル型振動子による超音波キャビテーション生成」

杉田直広・山本真也・進士忠彦 (科学大)

第 2 回 (1/14 東京科学大学大岡山キャンパス 蔵前会館ロイヤルブルーホール)
(電子情報通信学会超音波研究会共催)

2024 年度論文賞 記念講演 (1)

「計量ソナーを用いた浮魚類の資源量調査」

閻 乃箏 (北海道大学)

2024 年度論文賞 記念講演 (2)

「水中音響通信におけるスパース正則化付き適応アルゴリズムの適用」

樹田 行弘 (海洋研究開発機構)

2024 年度業績賞 記念講演 (1)

「AIMS (Acoustic IMaging or Surveying system) の開発 ～マルチビームデータ処理の高速・自動化～」

松本 さゆり (港湾空港技術研究所)

2024 年度業績賞 記念講演 (2)

「音響灯台方式による簡易・高精度水中測位システムの開発」
堤 賢一郎 (五洋建設株式会社)

第 3 回 (3/16 東京海洋大学品川キャンパス 白鷹館 2 階 多目的スペース)

Undersea Defence Technology (UDT) 2025 報告

川崎 良道 (沖電気工業株式会社)

The 18th Annual Meeting of Asian Fisheries Acoustics Society (AFAS) 報告

今泉 智人 (水産技術研究所)

第 6 回日米音響学会ジョイントミーティング 報告 (1)

～生物音響スペシャルセッション

赤松 友成 (早稲田大学)

第 6 回日米音響学会ジョイントミーティング 報告 (2)

～音響通信・測位スペシャルセッション

海老原 格 (筑波大学)

第 6 回日米音響学会ジョイントミーティング 報告 (3)

～水産音響

山本 那津生 (水産技術研究所)

○ 技術講習会

第 35 回技術講習会

(12/8・12/9 Zoom によるオンライン開催)

講師及びプログラム

12/8 講師：蜂屋 弘之 (東京科学大学)

音響の基礎 (第 3 章)

ソナー入門 (第 4 章)

音波伝搬 (第 8 章)

12/9 講師：鎌田 弘志 (元会長)

送受波器 (第 6 章)

反射散乱と残響 (第 9 章)

信号の検出と処理 (第 11 章)

水中音響計測 (第 12 章)

○ 日本海洋工学会

総会 2 回 (通期第 35 回 6/20, 第 36 回 3/11)

理事会 2 回 (通期第 51 回 6/20, 第 52 回 3/11)

運営委員会 2 回 (第 204 回 6/20, 第 205 回 3/11)

(2 度ともオンライン開催)

第 55 回海洋工学パネル

「海洋空間計画から考える日本の海洋管理のあるべき姿」(1/16)

○ 委員会

企画運営委員会

3 回 (9/1, 11/17, 1/30)

9/1 ハイブリット開催 東京科学大学 蔵前会館小会議室 2

11/17・1/30 オンライン会議

表彰委員会

2 回 (8/4, 2/6) オンライン会議

編集委員会

8 回 (4/21, 6/16, 7/11, ○9/19, 10/17, ○12/10, 1/8, 3/5)

○印は対面会議, その他は 全てオンライン会議

ホームページ委員会

メール等で数回審議

研究発表会実行委員会

10/8 にオンライン会議(引継ぎ)を実施しその後メールやりとり等で継続的に活動
海洋音響の基礎と応用改訂委員会

4回 (7/1,9/18,11/20,2/19)

部会(海中音の計測評価手法部会)

4回 (4/3,7/8,10/10,1/27)

2025, 2026 年度の評議員

1. 通常会員の評議員 (49名)

赤松 友成	加藤 健太郎	陶 良	向井 徹
甘糟 和男	川崎 良道	長澤 修宏	村上 泰
石前 浩蔵	黒山 喬允	中村 義行	森 和義
今泉 智人	西條 献児	西森 靖	森下 到
梅津 功	佐藤 隆一	野村 英之	屋内 伸治
海老原 格	澤 隆雄	長谷川 浩平	矢吹 哲一朗
遠藤 信行	澤田 浩一	飛龍 志津子	山口 功
及川 正道	志村 拓也	藤本 治	横田 裕輔
太田 和彦	高尾 芳三	干場 功太郎	吉澤 真吾
小笠原 英子	田中 正吉	松本 さゆり	渡辺 好章
奥山 智尚	土屋 隆生	水野 勝紀	
尾崎 俊二	土屋 健伸	宮城 亜紀	
越智 寛	土屋 利雄	宮本 佳則	

2. 賛助会員 (入会予定含む) の評議員 (31名) (本会に対する代表者)

あおみ建設(株)	吉原 到
(株)アクアサウンド	笹倉 豊喜
NECネットワーク・センサ(株)	螺良 豊
(株)OKIコムエコーズ	宮地 真
沖電気工業(株)	武田 啓之
海洋エンジニアリング(株)	鬼頭 毅
国立研究開発法人 海洋研究開発機構	出口 充康
(株)海洋先端技術研究所	植木 俊明
海洋電子工業(株)	竹之内 静香
川崎重工業(株)	南雲 岳
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所	
港湾空港技術研究所	安部 智久
五洋建設(株)	増谷 正治
三波工業(株)	細川 靖浩
ジャパン マリンユナイテッド(株)	島田 久仁彦
ジェイ・アール・シー特機(株)	杉本 誠
JMUディフェンスシステムズ(株)	小倉 一郎
(株)多摩川電子	齋藤 隆
(株)ソニック	伊藤 宏
(株)東陽テクニカ	三野 仁裕
日本アビオニクス(株)	菅野 大介
日本海洋(株)	堺 理紗子
日本電気(株)	海地 慶太
日本電気航空宇宙システム(株)	澤口 桂一
日本無線(株)	森下 雅透
(株)日立製作所	南利 光彦
古野電気(株)	伊藤 雅紀
ミサゴ株式会社	秋山 典生
三菱重工業(株)	村山 聖
三菱プレジジョン(株)	錦織 慎治
横浜ゴム(株)	根本 圭一
(株)MMT	村元 宏行

2025 年度表彰一覧表

○顕功賞

- ・受賞者（所属（当時）） 蜂屋 弘之 （東京科学大学）

・功績の概要

蜂屋 弘之氏は、長年に亘って超音波映像法、音響信号処理、音響トモグラフィ、音波伝搬数値計算等の幅広い研究領域において多数の研究成果を挙げられました。また本学会運営においては、理事をはじめとして、副会長、会長の要職を歴任され、本学会の発展にも多大のご尽力を頂きました。さらに、本学会の名誉会員に就任後も、学会行事にも積極的に参加され、後進の指導・育成にも熱心に取り組まれておられます。

このような蜂屋氏の学術ならびに本学会に対する多年の活動業績は、我が国の海洋音響技術の発展に顕著な功績が認められることから、本学会の顕功賞受賞者としての要件を十分に満たしていると考えます。

○論文賞①

- ・題目 海面散乱音場の積分表現とフレネルゾーンの振舞

- ・受賞者（所属（当時）） 大川 圭一 （艦艇装備研究所）

- ・掲載誌 海洋音響学会誌, Vol. 51, No. 4, pp. 45-59, 2024 年 7 月

○論文賞②

- ・題目 Multiple-input-Multiple-output Underwater Acoustic Communication with an Orthogonal Signal Division Multiplexing Using Basis Pursuit Denoising

- ・受賞者（所属（当時））

石島 諒一	(筑波大学)
海老原 格	(筑波大学)
若槻 尚斗	(筑波大学)
前田 祐佳	(筑波大学)
水谷 孝一	(筑波大学)

- ・掲載誌 海洋音響学会誌, Vol. 51, No. 4, pp. 96-116, 2024 年 7 月

○業績賞①

- ・題目 小型鯨類の自動音響観測装置の開発
(推薦にかかわる仕事をした期間：2005 年～2024 年)

- ・企業・団体名 株式会社 MMT

- ・担当者（所属（当時）） 村元 宏行 （株式会社 MMT）

○業績賞②

- ・題目 高耐性水中音響通信システムの実証
(推薦にかかわる仕事をした期間：2023 年～2025 年)

- ・企業・団体名 JMU ディフェンス株式会社, 株式会社多摩川電子

・担当者（所属（当時））	白銀 和浩 齋藤 隆 吉澤 真吾	（JMU ディフェンス株式会社） （株式会社多摩川電子） （北見工業大学）
--------------	------------------------	---

○JAMSTEC 中西賞

(日本海洋工学会より贈呈)

- ・ 題目 Enhancing the naturalness and robust detection of bio-mimic localization signals in coastal noise environment
- ・ 受賞者 (所属 (当時)) Ravega Rullianov Ruben (防衛大学校)
- ・ 掲載誌 海洋音響学会 2025 年度 研究発表会 講演論文集, pp. 59-62